

復興まちづくりニュース

Vol. 13

青井地区

第9回青井復興まちづくり推進委員会を開催しました

令和6年10月1日(火)人吉市役所において、第9回青井復興まちづくり推進委員会を開催しました。当会では、復興デザイン会議の設立とこれまでの復興状況の取組みについて報告等を行い、委員の皆様からご意見をいただきました。

復興まちづくりデザイン会議の設立について

令和2年豪雨からの復興の取組として、本市では「まちなかグランドデザイン推進方針」に基づき、中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区の各拠点を連携させた「まちなか」全体の活性化を目標に取り組んでいます。当方針の推進を図るため、令和6年8月に復興まちづくり推進会議及び復興まちづくりデザイン会議を設立しました。当会議では各分野の専門家の方々と土地の利活用や事業について議論し、今後具体的な実施方針をまとめ、復興まちづくり推進会議で意思決定を行う予定です。

人吉まちなかグランドデザインの3つの基本方針

- 1 安心安全とともにある復興
- 2 多様な文化とともにある復興
- 3 美しい球磨川・盆地とともにある復興

人吉まちなかグランドデザイン推進方針に基づき、復興まちづくりデザイン会議を設立しました。

復興まちづくりデザイン会議の座組



▼デザイン会議についてのご質問を一部紹介します。

【ご質問】

Q 青井復興まちづくり協議会の位置づけはどうか。

A 当協議会についても今後継続させていただき、復興まちづくりデザイン会議と連携しながら進めていく。

Q 市民や事業者がやりたいことを伝えるにはどうすればいいのか。窓口はあるのか。

A 今年度ワークショップ等の場を設ける予定であり、その際にご自身が実施したい意見をいただきたい。

Q 人吉市復興まちづくりタスクフォースは具体的に何をやる組織なのか。

A タスクフォースはより実践に近い取組みを検討する組織として、各拠点や事業等によって個別に分かれ、同時進行に動いていくものになる。

【ご意見】

- 復興まちづくりデザイン会議の委員について女性の委員をもう少し増やせばいい。
- まちなかグランドデザインの推進方針の目標値をもっと高くしてもいいのではないか。
- 観光まちづくりだけではなく市民生活の方にも目を向ける計画を取り入れてほしい。

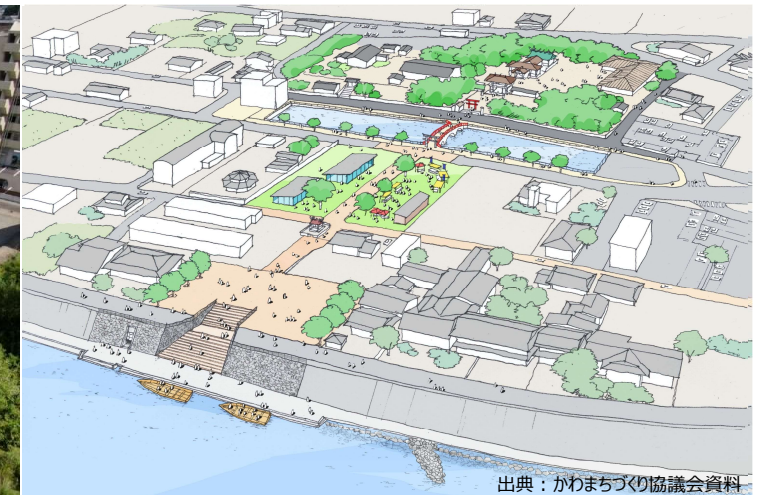
青井地区の復興状況の取組について

青井土地区画整理事業では今年7月に第5回審議会を開催し、新たに21画地が仮換地指定され、今回の指定により約87%の仮換地指定となりました。工事についても九州電力社員寮の西側の画地を一部しゅん工しております。

また、青井阿蘇神社周辺賑わい拠点整備プロジェクト(案)では、各道路の在り方や構造、想定されるコンテンツ等、現在、現状の課題の整理を行いながらデザイン等の検討を行っています。



青井土地区画整理事業 しゅん工状況



青井神社周辺賑わい拠点整備プロジェクト(案)
※現時点のイメージ(案)であり、今後変更する可能性があります。

▼復興事業の進捗についてのご意見、ご質問を一部紹介します。

【ご質問】

Q 賑わい拠点に何か施設を建てるのか。門前町のような雰囲気を作ってほしい。

A まだ、どういった施設を作るかは決まっておりません。今後、デザイン会議やタスクフォース等により、将来必要となるものを計画していきたいと考えている。

Q 駐車場の問題についてはどうなっているのか。

A モビリティハブや人吉インターチェンジ、人吉駅との連携については、まちなかグランドデザイン推進方針で位置付けている。今後、復興まちづくりデザイン会議交通タスクフォースにおいて具体的な議論を進めていく。

【ご意見】

- 過去に人吉駅周辺のまちづくりが行われた時、だれがどうやって決めたのかわからなかった。今回のまちづくりはそんなことがないようにしていただきたい。



第9回まちづくり委員会の様子

◇お問い合わせ◇ 人吉市役所 復興建設部 市街地復興課
〒868-8601 熊本県人吉市西間下町字永満7番地1
Tel:0966-22-2111(内線:2216)、Fax:0966-24-7869
E-mail:shigaitifukkou@hitoyoshi.kumamoto.jp